

THE AMERICA-JAPAN SOCIETY, INC.

The eighty-eighth (88th) ORDINARY GENERAL MEETING

at 3:00 p.m. on July 7th, 2023

at The International House of Japan

AGENDA

1. Report from President..... P.1-7
- - - by President Ichiro Fujisaki
2. Election of New Directors P.8-9
- - - by President Ichiro Fujisaki
3. FY2022 Report on Activities, Finance and Membership Trend P.10-18
- - - by Executive Director Kazuo Okamoto
4. Statutory Auditor's Report for FY2022 P.19
5. Ordinary Activity Plan & Budget for FY2023..... P.20-23
- - - by Executive Director Kazuo Okamoto
6. New Individual & Corporate Members..... P.24

一般社団法人 日米協会

The America-Japan Society, Inc.

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28-8F

1-11-28, Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052

Annual Report of FY 2022 2022年度 年次報告

(2022年5月1日～2023年4月30日)

会長 藤崎一郎

2023年5月8日に新型コロナが感染症法上で5類に変更されたことを受け、長かったコロナ禍もひと段落が過ぎました。2022年5月～2023年4月はコロナ禍最後の1年となりましたが、大規模なものを含めて対面でのイベントを徐々に再開しながらもオンラインによるプログラムも併存させる形での過渡期的な対応となりました。100周年記念事業を含めたイベントの開催総数は33と2021年度の28より増加致しました。

その中でも象徴的なのは、6月にグランドハイアット東京で開催された安倍、エマニュエル両名誉会長を歓迎する会、11月に京都で開催された日米国際シンポジウムで、ともに数百人規模の参加者を得て久々に大規模なリアルイベントの復活となりました。今後は更にリアルイベントの復活を進めコロナ禍前のレベルに活動を活性化させて参りますが、この機会に会員の皆様の日頃からのご支援に感謝し、2022年度の活動実績を報告いたします。

1) プログラムの実施状況

2022年度に開催したプログラムの詳細は **Calendar of Event (P10-14)** をご覧ください。

各界から著名なゲストスピーカーをお招きする月例会については、2020年3月までは **White & Case** 法律事務所殿のご厚意により会場を提供頂いておりましたが、コロナ禍を含め感染リスクが完全に消しきれない昨今に至るまで月例会(5件)は全てオンラインでの開催としております。オンラインでの開催は柔軟な設定が可能となるため、タイムリーに生きた情報を会員間に広く共有できるイベントとして定着してきましたが、今後は **White & Case** 法律事務所殿のご理解を頂戴しつつ、対面イベントとしての復活を目指して行きたいと考えております。尚、いつもながら大井孝理事には同時通訳サービスのご提供を頂いており、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この他、会員間の交流を広める企画として、コロナ禍以前には、総会後の懇親会、米大使館公邸でのパーティー、在日米商工会議所との共催イベント「飲む・ニケーション」、米軍基地見学会など開催していましたが、昨年度はゴルフ会、**AJS** サロンなど小規模なイベントの開催に留まりました。今年度は既に米海軍横須賀基地見学を再開しましたが、今後はリアルイベントの取組み範囲を拡大して行きます。

また、100周年記念行事については、柱となる日米若人による英語での討論会 **NGRT** はほぼ毎月開催され、若人間の入会や相互交流に貢献しております。森ビル殿のご支援に深謝いたします。この他、9月に第4回金子堅太郎賞の授賞式、12月には **VSJ** プログラムによる米国人研究者の日本招聘をいずれも4年ぶりに開催しました。一方、第3回アメリカボウル大会は、コロナが沈静化しない状況での海外渡航を懸念したとみられる出場校数の減少から止むを得ず中止と致しました。

2) 会員の状況

P-15 の通り、新型コロナウイルスの影響で法人会員 1 社(中谷医工計測技術振興財団)が退会、1 社(**America School In Japan**)が入会となりました。個人会員については、準会員・学生会員が増えた一方で、維持・正会員は微増に留まっています。学生会員は、2020年から導入した入会時の **NGRT** プログラム参加費免除、学生会員年会費の値引き(3千円から2千円)によって継続して増加しており、4年前との比較では約93%増となっています。また女性の比率も4年前より17%程増加しています。一方で米人の構成比は依然11%のままです。会員の皆様に個人会員の入会を引続きお願いすると共に、特に米人会員の入会にご支援くださるよう改めてお願い申し上げます。

3) 役員について

当協会の役員（理事・監事）は定款第5章第18条及び第23条により「理事9名以上13名以内（任期2年）、監事2名以内（任期4年）」と定められております。今年度は、理事13名中2名が今総会で任期を迎えますので、今総会の議案として重任の承認をお諮り致します。ご承認頂きますと、今回重任を受けた2名を含めた再任理事は13名、監事は2名となります。尚、今年度に退任する理事・監事はおりません。

名誉会長については、2020年11月に就任された安倍晋三元首相は2022年7月に不慮の事故によりご逝去されました。また、名誉副会長で金子堅太郎賞選考委員長を務められた斉藤邦彦元駐米大使が7月に逝去されました。日米関係の維持発展に尽くされたお二人の業績に改めて深く感謝すると共に衷心より哀悼の意を表します。

これらに加え評議員に亀岡エリ子氏に新たに御就任頂きます。全体の就任状況についてはP8-9をご覧ください。

4) 財務・経理の状況

収支の状況は、①通常の一般事業と②100周年記念事業に分けて報告します。

- ① 一般事業の状況：P-16に記述の通り、昨年度の大幅な黒字(10,515千円)から赤字(△1,284千円)となりました。昨年度の黒字は2020年12月に逝去された谷静子評議員の遺贈10,000千円に依る一時的なものであり、今年度の赤字は当初計画値(△2,132千円)に従った上でコスト削減を行った結果を反映しております。赤字となった要因は、主に名誉会長歓迎イベント会場費の負担、事務所貸借料の値上げ等によるものです。

尚、本年度より谷静子基金は日米の若人交流促進のために使用を開始させて頂き、主にインターン生による活動に要する交通費、アメリカンスクール(ASIJ)との共同イベントに掛かる費用等にて2022年度では184千円を費消致した。この場を借りて御報告致します。

この他、収入面では若手会員の大きな増加がありましたが、収入増への貢献は限定的です。

- ② 100周年記念事業の状況：P-17に記載の通り、会員の皆様より頂戴した「100周年記念基金」を大切に使用させて頂き4つの記念事業を推進した結果、2022年度には5,647千円を費消し期末での残額は75,274千円となっております。

5) 100周年事業について

創立100周年を記念して頂戴したご寄附は特に日米相互理解と友好促進を進めるため、さらには日米の若人の国際交流を支援するための以下の4つのプログラムに使用してまいりました。2022年度の実績と決算はP-17、2023年度の予算はP-23をご参照ください。

① 日米協会金子堅太郎賞

長年に渡り日米交流に草の根レベルで貢献した一般人を対象とする賞です。選考委員会は、斉藤邦彦元駐米大使（当協会名誉副会長）のご逝去を受けて、茂木キッコーマン名誉会長を委員長に、委員には、大橋 ANA ホールディングス相談役、ラフルアー在日米国商工会議所会長（当協会副会長）、ジャーナリストの国谷裕子氏、久保文明防衛大学校長、日米協会を代表して小職を委員としています。また今回の第4回審査より樫山奨学財団 亀岡エリ子理事長に新たに委員に就任頂きました。

尚、授賞式については、2019年10月の第3回式典の開催以降、コロナ禍他により中断していましたが、2022年9月に国際文化会館にて開催し、本賞を2名、1団体、特別賞を2名に贈呈しました。次回第5回の選考は2024年の予定です。

② NGRT (Next Generation Roundtable in Tokyo)

次世代向けのプロジェクトの目玉として、コロナ禍にも拘わらず「次世代ラウンドテーブル in TOKYO (NGRT)」を継続的に実施しております。東京でアメリカ人と英語で議論する場を作り、日米両国の若人のネットワーキングを図ることを狙いとするもので、年間を通じ10回程度を六本木ヒルズクラブまたはアークヒルズクラブ(会場ご提供:森ビル殿)にて行い、米人をはじめ企業会員の若手社員や若い個人会員からも多数の参加を得ています。

2022年10月から第6期生プログラムを開始し4月末までに6回実施しています。毎回各界の新進気鋭のスピーカーをお招きすることで活発な議論が展開されています。2020年募集の第4期生より40歳以下の会員への参加を無料とすることで若手の会員増に直結する制度と致し、若人の会員増にも貢献しています。

③ Visit and Study Japan Grant Program (VSJ)

米国の大学院で日本研究を行っている米国人学生の短期日本研究訪問の助成金プログラムです。別途選抜された米国の大学院生に日米協会から奨学金と外務省からの助成による渡航費を援助します。2019年度以降は同プログラムによる渡航ができない状態となっていましたが、2021年に合格した1名が渡航規制の緩和を受けて2022年12月に来日調査を行い、協会事務局で研究発表会を行いました。

④ アメリカボウル大会

アメリカボウル大会は、日本人高校生を対象に、アメリカの歴史・文化・芸術・地理・科学・日米関係などについての知識を簡単な英語で問うクイズ大会です。米国のワシントン DC 日米協会が永年開催しているジャパン・ボウルの経験を活かしてアメリカ人と日本人合わせて15名程度の準備委員会を構成し準備を進めましたが、2020年度、2021年度ともコロナ禍に於ける緊急事態宣言等で中止となっていました。2022年度は再開を期して準備を進めましたが、コロナが収束しきっていない環境下での海外渡航を懸念したとみられる出場校数の減少から、止む無く中止と致しました。尚、同大会の名誉総裁には高円宮妃殿下に御就任頂いている他、次の団体から支援を頂いております。助成:米日財団、後援:外務省、アメリカ大使館、全英連、ワシントン DC 日米協会、国際ビジネスコミュニケーション協会、国際教育振興会、日本国際教育協会、港区教育委員会。

本年度も会員の皆様の為の日米協会として活発に活動して参りますので引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。今後とも都度ご案内いたしますプログラムへのご参加をお待ち申し上げます。

Annual Report FY2022
For the fiscal year ended April 30, 2023

Dear Members of the Society,

In response to the reclassification of Covid-19 by the government as of May 8, 2023, the prolonged pandemic in Japan finally seems to have come to an end. It can be said that the fiscal year of 2023, from May 2022 to April 2023, coincided with the final part of the pandemic. In other words, the year can be remembered as a transitional phase with online programs coexisted with face-to-face events, partly including large-scale ones. The total number of events held during the period, including the centennial projects, reached 33 while that of FY2021 was 28.

In particular, the welcome event for Honorary Presidents, Shinzo Abe and Rahm Emmanuel, held at the Grand Hyatt Tokyo in June and the International Symposium held in Kyoto in November epitomized the significant revival of large-scale events with hundreds of attendants. We will further continue to promote the real events at the upcoming year. I would like to take this opportunity to thank you, all the AJS members, for your consistent support of the activities and am delighted to report the results of FY 2022.

Firstly, the following are the summary of our activities in FY2022.

Please see the Calendar of Events (p.10-14) for details on the programs held in last year.

Up until March 2020 when the pandemic began, the venue for the monthly meetings inviting famous guest speakers from various fields had been provided by courtesy of White & Case law firm, but under the circumstances where the risk of infection through face-to-face events cannot be completely ruled out, all monthly meetings have been inevitably switched to online. At present, setting up the time of the event flexibly along with the prevalence of online events, it has become widely acknowledged that online events can be easily shared superseding the difference of place and time. However, with the support by White & Case law firm providing us with the opportunities to use their conference room, we would like to seek the opportunity to switch it to real events once again as before pandemic era. Last but not least, we would like to take this opportunity to express our sincere thanks to Dr. Takashi Oi, Director of the AJS, for his support in providing simultaneous interpretation services as always.

In addition, in order to expand networking among the members, we had once held a number of social gatherings before the pandemic: such as the parties after the General Meeting or at the official residence of the U.S. Embassy; "Nomu-Nication" co-hosted with the American Chamber of Commerce in Japan and tours of U.S. military bases. Currently, we are only mainly working on

holding small scale events such as golf competitions, AJS salons, and U.S. base tours, but we will continue to expand the scope and frequency of such events.

In addition, for the centennial events, we are pleased to report that the following events were successfully organized: the 4th Kentaro Kaneko Award ceremony in September; the VSJ program inviting an American researcher to Japan in December for the first time in four years, and NGRT, owing to special support by Mori Building, has been held almost every month continuously. All those programs have been contributing to the increase of participation by young members and thus the revitalization of the Society. The 3rd America Bowl quiz competition scheduled for November was regrettably canceled due to the unexpected decrease in the number of participants, which we presume might be due to their reluctance to see off their students abroad where the pandemic still persisted.

Secondly, regarding the number of AJS members, we had to accept the resignation of one corporate member, while one company, American School in Japan, joined. As for individual members, while the number of student members increased, the number of sustainable, regular, and associate members increased to only limited extent, resulting in slight increases of revenue. On the other hand, the increase in student members is attributed to the program fee waiver measure for those who wish to join NGRT and the reduction of annual student member fees (from 3,000 yen to 2,000 yen) introduced in 2020, which has been contributing to the revitalization of the association's activities through increased participation of younger people, which has reached 193% to compare with that in 2018. And also, the ratio of female has increased by 17% from 2018. Please give your support for new admission of individual members, especially American members, as they still account for only 11% of the total membership.

Thirdly, with regard to the officers of the Society, in accordance with Chapter 5, Article 18 and 23 of the articles of association, the number of officers should be at least 9 and up to 13 directors for a term of two years. In addition to the above, there is a maximum of 2 auditors for a term of four years. This year, 2 members of the Board of Directors will be termed out and hence need reappointments at the general meeting. If they are approved, the total number of directors remains 13, including the said reappointed directors, while there remain the presently appointed 2 auditors with no retiring directors and auditors.

As to the Honorary President, Shinzo Abe, who was appointed in November 2020, demised in the devastated incident in July last year. In addition, Ambassador Kunihiko Saito, Honorary Vice President and head of the Kaneko Award Selection Committee, passed away in July. We would like to express our deepest gratitude for both gentlemen, who had been contributing to the development of the exchanges between two countries.

In addition to these, Ms. Eriko Kameoka will be newly appointed as a councilor. Other Honorary Vice Presidents and Advisors will continue to serve as the same as before. Please refer to P8-9.

The fourth theme is about finance and accounting. The details of revenue and expenditure are reported in two categories: the regular general operations and the centennial commemorative operations. The status of income and expenditures is reported separately for (1) the regular general operations and (2) the centennial anniversary projects.

(1) Status of the regular general operations:

As described on P-16, there was a deficit of 1,284 thousand yen comparing with huge surplus (10,515 thousand yen) in the previous year. The surplus was merely tentative due to the bequest of 10,000 thousand yen from the Ms. Shizuko Tani, who passed away in December 2020. The deficit of this year is just as planned at the outset of the fiscal year. The main reasons are the cost burden of the event inviting the honorary presidents and the increase of the office rent.

As to the Shizuko Tani Fund, we have used this fund effectively for the promotion of the exchanges between young people in Japan and the United States and thus consumed 184 thousand yen with the transportation fee of our intern students and the event in collaboration with American School in Japan (ASIJ) in FY2022.

In addition, we have seen a number of increases by the student members, but the contribution to the revenue is limited.

As described on page 17, we have also deliberately used the "Centennial Fund" received from our members to promote four commemorative projects, and as a result, 5,647 thousand yen was expended in FY2022, leaving a balance of 75,274 thousand yen at the end of the term.

(2) The Centennial Donations have been used for the following four programs to promote mutual understanding and friendship between Japan and the U.S., and to support international exchange between young people of both countries. Please refer to P-17 for FY2022 results and accounts and P-23 for FY2023 budget.

i) The Kaneko Award

The Kaneko Award is given to an individual who has made a grassroots contribution to the U.S.-Japan relations. The head of the selection committee was succeeded by Mr. Yuzaburo Mogi, Honorary Chairman of Kikkoman, following the demise of Ambassador Saito, and consequently the committee consists of Mr. Yoji Ohashi, Senior Advisor of ANA Holdings, Mr. Christopher LaFleur of the American Chamber of Commerce in Japan (Vice President of the AJS), journalist Ms. Hiroko Kuniya, Dr. Fumiaki Kubo, President of the National Defense Academy and myself. At the 4th award selection, Ms. Eriko Kameoka, Chairperson of Board, Kashiyama Scholarship Foundation, joined the committee as a new committee member. We have successfully resumed the project and awarded two individuals and one organization as well as special awards to two

individuals at the International House in September for the first time since October 2019, after temporarily suspending the selection in FY2020 and FY2021 to consider the impact of the pandemic. The selection of the 5th Kaneko Award is scheduled to take place in FY2024.

ii) NGRT (Next Generation Roundtable in Tokyo)

NGRT is the centerpiece of the project for the next generation. The original idea was to create a forum in Tokyo for discussion with Americans in English, and the NGRT aims to promote networking between young Americans and Japanese through the series of session. The NGRT is held approximately 10 times throughout the year at Roppongi Hills Clubs and Ark Hill's Clubs, the venues benevolently provided by Mori Building, and has been well attended by both Americans, young individual members and young employees of corporate members.

Starting in October 2022 last year, the six sessions have been already held until the end of April as the 6th program. As the sessions are separately held in small groups, they could be held in person along with up-and-coming speakers invited from various fields. We should note that we have exempted the admission fee for any AJS member since the fourth program, which has directly increased the number of Associate and Student members.

iii) Visit and Study Japan Grant Program (VSJ)

The Visit and Study Japan Grant Program (VSJ) provides grants for short-term study visits to Japan by U.S. students pursuing Japanese studies at U.S. graduate schools in collaboration with MOFA. Although the program itself has been suspended due to Covid-19 since 2020, but two students applied and were accepted in 2021. While one of them declined later, the other applicant completed the research ending up with the session at the AJS office in December 2022.

iv) America Bowl

The America Bowl is a quiz competition for Japanese high school students to test their knowledge of American history, culture, art, geography, science, and Japan-U.S. relations in simple English. The Japan-America Society of Washington, D.C., in the U.S. has long held the Japan Bowl, and a preparatory committee of about 15 American and Japanese members was formed to prepare for the event. However, due to the Covid-19 related concerns, the events have been forced to be cancelled since the pandemic began.

It is an honor that Princess Takamado agrees to assume the Honorary President of the event. And the event is also supported by: U.S.-Japan Foundation, Ministry of Foreign Affairs of Japan, U.S. Embassy, ZEN-Eiren, Japan-America Society of Washington DC, the Institute for International Business Communication, Association for the Promotion of International Education, the Japan Society for International Education and the Education Committee of Minato City in Tokyo.

We will further pursue effective activities for our members. We look forward to your continued understanding and support.

President Ichiro Fujisaki

一般社団法人 日米協会 役員・役職者

July 7, 2023 現在
(アルファベット順)

名誉会長	ラーム・I・エマニュエル	
会 長	藤崎 一郎	
名誉副会長	加藤 良三 杉山 晋輔	佐々江 賢一郎 柳井 俊二
顧 問	宮内 義彦 大橋 洋治 千 玄室	茂木 友三郎 大河原 愛子
副会長	久野 明子	クリストファー・J・ ラフルアー
理 事 (*FY2023-2024) *	藤崎 一郎 久保 文明 クリストファー・J・ラフルアー 大井 孝 ブライアン・G・ストラーン 氏家 純一 トーマス・W・ウィッソン	アーネスト・M・ヒガ 久野 明子 森 浩生 * 岡本 和夫 鶴田 知佳子 渡辺 隆
専務理事	岡本 和夫	
監 事	デヴィッド・E・ケース 公望 聡史	
評議員	青木 聡 亀岡 エリ子(新任) 小松 としゑ パッカード啓子 迫川 由和 手納 美枝 山下 宏	文野 千年男 川端 章夫 馬越 恵美子 斎藤 裕紀恵 滝 健 和田 文彦 柳澤 亨

安 欣治
吉田 隆志

安田 信

The Officers of the America-Japan Society, Inc.

As of July 7, 2023

(Alphabetical order)

Honorary President	Rahm I. Emanuel	
President	Ichiro Fujisaki	
Honorary Vice-Presidents	Ryozo Kato	Kenichiro Sasae
	Shinsuke Sugiyama	Shunji Yanai
Advisors	Yoshihiko Miyauchi	Yuzaburo Mogi
	Yoji Ohashi	Merle Aiko Okawara
	Genshitsu Sen	
Vice-Presidents	Akiko Kuno	Christopher J. LaFeur
Directors	Ichiro Fujisaki	Ernest M. Higa
(* FY2023-2024)	* Fumiaki Kubo	Akiko Kuno
	Christopher J. LaFeur	Mori Hiroo
	Takashi Oi	* Kazuo Okamoto
	Brian G. Strawn	Chikako Tsuruta
	Junichi Ujiie	Takashi Watanabe
	Thomas W. Whitson	
Executive Director	Kazuo Okamoto	
Statutory Auditors	David E. Case	
	Satoshi Kubo	
Council Members	Satoshi Aoki	Chitoo Bunno
	Eriko Kameoka(Newly appointed)	Akio Kawabata
	Toshie Komatsu	Emiko Magoshi
	Keiko Packard	Yukie Saito
	Yoshikazu Sakogawa	Ken Taki
	Mie Teno	Fumihiko Wada
	Hiroshi Yamashita	Susumu Yanagisawa
	Kinji Yasu	Makoto Yasuda
	Takashi Yoshida	

FY 2022 Program & Speakers
(May 1, 2022 ~April 30, 2023)

(*) : Centennial Programs

(S) : Student Members/Interns Programs

1. May 10 (S): AJS Online Session for Students: “Job Roundtable”
Speaker: Mr. Todd Guild, a senior consultant at McKinsey & Company, senior advisor to the president and vice president of Suntory Holdings Limited, and a board member of B-R Thirty-One Ice Cream Co.
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 12 attendances
2. May 24 (*): Next Generation's Roundtable in TOKYO (R5-7): “ Charting your career path – Where do you want to go and how can you get there?”
Speaker: Mr. Thomas Whitson, Chair of the Japan Market Expansion Competition (JMEC)
Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 12 attendances (8 Japanese & 4 Americans)
3. June 1: “Welcoming Honorary Presidents, former Prime Minister Shinzo Abe and Ambassador Rahm Emanuel”
Grand Hyatt Tokyo, 14:00-15:00, 300 attendances
4. June 20 (*): Next Generation's Round Table in TOKYO (R5-8): “ C Future of nuclear power”
Speaker: Mr. Nobuo Tanaka, chair of the Innovation for Cool Earth Forum (ICEF), former Executive Director of the International Energy Agency (IEA)
Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 13 attendances (10 Japanese & 3Americans)
5. July 7 (S): AJS Online Session for Students: “Job Roundtable”
Speaker: Mr. Jun Nagashima, a Research Advisor to the Nakasone Yasuhiro Peace Institute, former
Defense Attaché, Liaison Officer to NATO and the EU, Embassy of Japan in Belgium, Director, Logistics (J-4), Joint Staff Office. and Defense Intelligence Officer, Defense Intelligence Headquarters.

- Online meeting, 19:30-21:00, (In Japanese), 16 attendances
6. July 20 (*): Next Generation's Roundtable in TOKYO (R5-9): “ Japan, the United States, and Economic Leadership in the Indo-Pacific Region”
Speaker: Mr. Aaron P. Forsberg, Counselor for Trade and Economic Policy, U.S. Embassy Tokyo.
Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 19 attendances (13 Japanese & 6 Americans)
 7. August 24: The AJS Monthly Program:” On U.S.- Japan relations, Ukraine and China”
Speaker: Professor Joseph Nye, Distinguished Service Professor, Emeritus at Harvard University
Online meeting, 21:00-22:00 (In English), 190 attendances
 8. September 6 (*): Next Generation’s Roundtable in TOKYO (R5-10):”How to become a Transformation Leader”
Speaker: Ms. Eriko Asai, President of GE Japan, Chair of ACCJ
Roppongi Hills Club,19:30-21:00, (In English),30 attendances (20 Japanese & 10 Americans)
 9. September 20 (*): The Awards Ceremony of the 4th Kentaro Kaneko Award
Recipients: Ms. Kiyoko Morita Caine, Mr. Jiro Kawatsuma, Mr. Yoshio Kurosaki, Mr. Stephan Bloom, Professor Gerald Curtis, Professor Hiroshi Senju
The International House, 15:30-17:30 (In Japanese & English),95 attendances
 10. September 21 (S): AJS Online Session for Students “Job Roundtable” With Mr. Yasumasa Yamamoto, Venture investor
Speaker: Mr. Yasumasa Yamamoto, Venture investor
Online meeting, 13:30-15:30 (In Japanese),9 Student members
 11. October 4: The AJS Monthly Program: “U.S. Midterm Elections and the Future of Japan-U.S. Relations”
Speaker: Professor Gerald Curtis, Professor Emeritus of Political Science at Columbia University
Online meeting, 15:00~16:00, (In English),100 attendances
 12. October 17(*): Next Generation’s Round Table in TOKYO (R6-1):”The role of media in the future”

- Speaker: Ms. Sayuri Daimon, Journalist, former managing editor of The Japan Times Akasaka Ark Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 42 attendances (29 Japanese & 13 Americans)
13. November 3-5: The International Symposium in Kyoto
Kyoto International Conference Center, 13:00-18:15, (In English & Japanese), 374 attendances
 14. November 19(*): America Bowl ⇒ Cancelled
 15. November 21: Monthly lecture “Dialogue on the U.S. Midterm Election” Speaker: Mr. Yoso Furumoto, Managing Editor at Foreign News Department of the Mainichi Shimbun
Online meeting, 15:00~16:30, (In English), 104 attendances
 16. November 28(*): Next Generation’s Roundtable in TOKYO (R6-2):”Covid in India and Japan-Was India so bad? Did we do so well?”
Speaker: Mr. Shingo Miyamoto
Akasaka Ark Hills Club, 19:30-21:00, (In English) 27 attendances (24 Japanese & 3 Americans)
 17. November 29 (S): AJS Online Session for Students “Job Roundtable “
Speaker: Mr. Yoso Furumoto, Managing Editor at Foreign News Department of the Mainichi Shimbun
Online meeting, 19:15-21:00, (In Japanese), 18 Student members
 18. December 1(*): Visit & Study Japan Grant Program: Report by the Recipient, Mr. Benjamin Blythe
The AJS Office, 11:00-12:00, 20 attendances
 19. December 2: AJS GOLF COMPETITION President Fukuda Cup
Tokyo Yomiuri Country Club, 16 attendances
 20. January 11 (S): AJS Online Session for Students “Job Roundtable “
Speaker: Mr. Tsuneo Watanabe, Adjunct Researcher at CSIS (Center for Strategic and International Studies) / Senior Researcher at the Sasakawa Peace Foundation, 17 attendances

21. January 24(*): Next Generation's Roundtable in TOKYO (R6-3): "How do we deal with China economically."
 Speaker: Minister Taro Kono,
 Roppongi Hills Club 19:30-21:00 (In English), 46 attendances (36 Japanese & 10 Americans)

22. January 30: AJS Monthly Program: "Dialogue with Dr. Sergiy Korsunsky"
 Speaker: Dr. Sergiy Korsunsky, Ambassador of Ukraine to Japan
 Online meeting, 14:00-15:00 (In English), 106 attendances

23. February 9: AJS Salon SDGs × Local Revitalization-by sustainable touring!
 Speaker: Mr. Shinichi Nakamura Chief Researcher, Regional Development, ANA Strategic Research Institute Co.,Ltd. , AJS office, 18:30-20:00, 17 attendances

24. February 21: The First Anniversary of Ambassador Emanuel
 The International House in Roppongi, Iwasaki Koyata Memorial Hall, 14:00-15:00, 106 attendances

25. February 28(*): Next Generation's Roundtable in TOKYO (R6-4)
 " Launching a Startup and its Challenges", Speaker: Mr. Shin Koyamada, Founder of KIF Japan
 Roppongi Hills Club 19:30-21:00 (In English), 33 attendances (30 Japanese & 3 Americans)

26. March 8(S):US Embassy Event for student Interns, Discussion with CPAO Mr. Roskamp,
 U.S. Embassy,16 Intern Students

27. March 16: The 6th US-Japan Liaison Meeting;
 MOFA, U.S. Embassy in Japan, The Japan Foundation (Global Partnership Department, CULCON), ACCJ, U.S.-Japan Foundation, U.S.-Japan Council, Japan-America Student Conference, Mansfield Foundation, American State Offices Association, The America-Japan Society
 AJS Office, 15:00~16:30, (In Japanese and English)

28. March 22(S): AJS Online Session for Students "Job Roundtable "With Mr. Kazuki Kuwabara, Mitsubishi Corporation, Online meeting, 19:15-21:00, (In Japanese), 13 student members

29. March 29: AJS Monthly Program: “Dialogue: New Defense Structure/ Three Documents of the Security Treaty”
Speaker: Mr. Itsunori Onodera, former Minister of Defense, a member of the House of Representatives
Online meeting, 15:00-15:50 (In Japanese), 65 attendances

30. March 28(*): Next Generation’s Roundtable in TOKYO (R6-5) “Leadership with Empathy”
Speaker: Ms. Mari Matthews, Representative of BNY Mellon Trust
Roppongi Hills Club 19:30-21:00 (In English), 39 attendances (33 Japanese & 6 Americans)

31. April 3: AJS Friendly Golf Event at Shonan Country Club in Chigasaki City, Kanagawa.
11 participants

32. April 28: A Joint Special Event with the American School in Japan (ASIJ): The 3rd U.S.-Japan Business Challenge,
“Solutions for Sustainable Society” collaborated with Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.
ASIJ,9:30-11:30,(In English), 22 attendances

33. April 28(*): Next Generation’s Roundtable in TOKYO (R6-6) “Japan’s Role in the International Community” Speaker: Mr. John Nylin, Minister Counselor for Political Affairs U.S. Embassy Tokyo
Roppongi Hills Club 19:30-21:00 (In English), 22 attendances (21 Japanese & 1 American)

FY2022 AJS Membership

As of April 30, 2023

COMPANY MEMBERS

	Company Members	Company Representatives	American	Japanese
FY2018	95 (118 units)	284	12 (4%)	272 (96%)
FY2019	94 (116 units)	276	12 (4%)	264 (95%)
FY2020	88 (109 units)	238	12 (5%)	226 (95%)
FY2021	85 (106 units)	233	11 (5%)	222 (95%)
FY2022	85 (106units)	232	13 (6%)	219 (94%)
Balance	0 (0 units)	△ 1	2	△ 3

Resigned Member: 1

New Member: 1

Nakatani Foundation for Advancement of Measuring Technologies in Biomedical Engineering
The American School in Japan

INDIVIDUAL MEMBERS & ASSOCIATES

	Special Sustaining	Sustaining	Regular	Associate	Student Member	Overseas	Total	American	Japanese
FY2018	0	107	357	83	75	7	629	69 (11%)	560 (88%)
FY2019	0	99	345	80	84	9	617	68 (11%)	549 (89%)
FY2020	0	99	346	102	107	12	666	73(11%)	593(89%)
FY2021	0	96	337	97	121	12	663	82(11%)	581(88%)
FY2022	0	93	343	102	145	15	698	82(11%)	616(88%)
Balance	0	△ 3	6	5	24	3	35	0	35

New Member: 64

TOTAL MEMBERS

	Total Representatives, Individual Members And Associates	American	Japanese
FY2018	921	80 (9%)	847 (91%)
FY2019	913	80 (9%)	841 (91%)
FY2020	893	81 (9%)	832 (91%)
FY2021	896	93 (10%)	803 (90%)
FY2022	930	110 (12%)	820 (88%)
Balance	34	17	17

個人会員比較

	FY2022	FY2018	FY2022/FY2018
Male	421	422	100%
Female	242	207	117%
Age ~39	220	131	168%
Age 40~	478	498	96%
Total	698	629	111%

Statement of Income & Expenditure FY2022

(from May 1, 2022 to April 30, 2023)

ORDINARY ACTIVITIES

	<u>ACTUAL</u> <u>FY2022</u>		<u>BUDGET</u> <u>FY2022</u>	<u>ACTUAL</u> <u>FY2021</u>
				(1,000 yen)
<u>INCOME (Ordinary Activities)</u>				
Membership Fees	29,353	99.6%	29,463	29,013
Company Members	18,938		18,990	18,900
Individual Members	10,415		10,473	10,113
Activities(Regular Program)	1,433		3,000	121
Donations	3		0	10,000
Interest & Other Income	28		44	42
Ordinary Income Total	<u>30,817</u>		<u>32,507</u>	<u>39,176</u>
<u>Expenditure (Ordinary)</u>	2,451		3,700	198
Regular Programs	2,351		3,600	98
US Embassy Grant (American studies)	0		0	0
Others (Directory, Student Conference)	100		100	100
Administrative Expenses (Ordinary)	29,515	100.5%	29,382	26,905
Salaries & Social Benefits	15,664		15,670	15,263
Transportation	1,722		1,120	845
Office Expenses	2,483		1,760	1,928
Business Meetings	227		750	166
Communication	1,196		1,100	1,136
Office Rental Charge	6,553		6,854	5,896
Office Equipment & Leasing	814		810	810
Stationary and Printing	482		950	493
Miscellaneous	68		68	68
Commission	306		300	300
Anti-Covid-19 countermeasures	0		0	0
Retirement fund	300		1,000	1,000
Depreciation	507		557	557
Untransferred cost of the Centennial Activities	-672			
Ordinary Expenditure Total	<u>32,101</u>		<u>34,639</u>	<u>28,660</u>
<u>Excess of Revenue Over Expenses</u>				
Ordinary Activities	-1,284		-2,132	10,515

尚、上記経費には、谷静子基金から若人による日米交流促進のための経費184千円(交通費162千円、会合費22千円)を含みます。

The above-described expenses includes 184kYen, the costs for promoting the US/Japan relations between young students, including 162k for transportation and 22k for meeting.

Statement of Income & Expenditure for Centennial Project Activities FY2022

(from May 1, 2022 to April 30, 2023)

CENTENNIAL PROJECT

	<u>ACTUAL</u> <u>FY2022</u>	<u>BUDGET</u> <u>FY2022</u>
		(1,000 yen)
<u>INCOME</u>		
Centennial Donation (carried over since FY2018)	80,611	80,611
Other Income (FY2020)		
- NGRT participation fee	154	168
- Support for VSJ	153	0
- Participants fee	3	0
- Donations	0	0
Total Income	80,921	80,779
<u>Expenditure</u>		
1) The Kaneko Award	1,732	800
Ceremony	435	0
Prizes	1,233	600
Communication	64	200
2) NGRT(Next Generation Round Table)	600	570
Venue	430	330
Communications & Transportation	36	100
Printing & Office Expense	68	100
Business Meetings	12	10
Remunerations	54	30
3) VSJ(Visit and Study Japan)	461	330
Grant @300,000 × 1 student	300	300
Remunerations & Others	161	30
4)America Bowl	1,071	3,800
Printing & Postage	769	1,000
Remunerations	0	200
Facilities	2	100
Prizes	0	500
Equipment/Vendors	0	1,000
Others	300	1,000
5)Other reserve	1,110	2,000
Sub Total 1)~5)	4,974	7,500
5)Payment for accrued expense & others		
6)Untransferred cost on Ordinary Activities	672	
Total Expenditure	5,647	7,500
Excess of Revenue over Expenses carried over for FY2023	75,274	73,279

BALANCE SHEET

As of April 30, 2023

(¥)

<u>ASSETS</u>			
Current Assets total			<u>43,741,042</u>
Cash and Deposits		33,767,495	
Accounts Receivable		0	
Reserves		9,973,547	
Fixed bank deposit	6,000,000		
Securities	3,973,547		
Other Reserves			
Fixed Assets Total			<u>83,496,356</u>
Permanent funds		681,182	
Centennial fund reserves		75,273,897	
Retirement fund reserve		2,456,254	
Other fixed assets		5,085,023	
Office Furniture	405,068		
PC software & HP	122,220		
Deposit for rent	4,557,735		
Total Assets			<u>127,237,398</u>
<u>LIABILITIES</u>			
Current Liabilities			<u>683,765</u>
Accured Liability		239,496	
Deposit Payables		444,269	
Non-current Liabilities			<u>3,935,209</u>
Retirement Allowances		3,935,209	
Total Liabilities			<u>4,618,974</u>
<u>NET WORTH</u>			
Net worth			<u>122,618,424</u>
Net worth at beginning of year		129,238,842	
Net worth change during year		-6,620,418	
Total Net worth			<u>122,618,424</u>
Liabilities & Net worth Total			<u>127,237,398</u>

Net worth ordinary operation 47,344,527 (¥)

Net worth Centennial operation 75,273,897

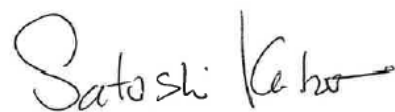
(*) Net worth Total 122,618,424

FY2022 日米協会監査報告
Audit Report of the America-Japan Society, Inc.
for the FY 2022

2022 年度の一般社団法人日米協会の業務報告及び会計監査（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）を監査の結果、これらは適正に行われていることを認めます。

It is certified that the activities and the financial statements of the America-Japan Society, Inc. during the FY 2022 are properly executed.

Statutory Auditor,



Satoshi Kubo

Statutory Auditor,



David E Case

June 16, 2023
The America-Japan Society, Inc.

AJS Activity Plan for FY2023

Direction for strengthening the Society's Events

A: Regular Programs

1) Talk events: lectures and panels.

Inviting prominent guests for lectures, talks and dialogs with President Fujisaki on the timely subjects nearly every month. While most of the events in 2022 were held online except the ones welcoming Honorary Presidents, we will pursue opportunities for increasing the number of "real" events in collaboration with our partners.

2) Other regular programs.

- "Garden Party" could be resumed subject to the permission by the U.S. Embassy.
- Joint programs with other organizations such as ACCJ named "Nomu-Nication" to be resumed.

3) Small scale events and conferences up to 40 attendants at AJS

- "AJS Salon" events to get acquainted with each other introducing the expertise of our members.
- `Happy Hour` events to be organized occasionally organized by interns.
- Liaison conferences among US-Japan stakeholders to enhance mutual collaboration.
- Intern students' meetings

4) Outing programs

- Visits to the U.S. military bases: to be enhanced but may be compromised by restrictions
- Music and other social gatherings: to be enhanced in collaboration with our partners

5) The AJS golf tournament

- The number of events has been reduced to once in a year, but resumed to twice in a year from 2023, including Ambassador Grew Cup in November 17th at Yomiuri Golf Club

Income & Cost Estimation for FY2023 Ordinary Activities
 Estimation for the Regular programs

1	Regular talk events	200,000	@1,000 x 50 members x 4 times
2	Other regular events	2,000,000	Garden Party, Numu-Nication etc.
3	Small scale events & conferences	40,000	@10,000 x 4 times
4	Outing programs	280,000	@140,000x 2
5	Golf events	80,000	@80,000 x 1
	Total	¥2,600,000	

B: Centennial Projects

We will continue to make efforts for four (4) Centennial Projects commemorating the Society's Centennial. Please see P.23.

Ordinary Activities
BUDGET of INCOME & EXPENDITURE FY2022
(from May 1, 2023 to April 30, 2024)

(1,000 yen)

		<u>BUDGET</u> FY 2023		<u>ACTUAL</u> FY 2022
<u>INCOME (Ordinary)</u>				
Membership Dues		29,560		29,353
Company Members	18,990		18,938	
Individual Members	10,570		10,415	
Regular Programs		2,600		1,433
Donations		0		3
Interest & Others		230		28
<u>Ordinary Income Total</u>		<u>32,390</u>		<u>30,817</u>
<u>EXPENDITURE (Ordinary)</u>				
Activities (Ordinary)				
		3,700		2,451
Regular Programs	2,600		2,351	
US Embassy Grant (American Study)	0		0	
Others(Directory, Student Conference)	1,100		100	
Administrative Expense				
		29,301		29,515
Salaries & Social benefit	15,526		15,664	
Transportation	1,654		1,722	
Office Expense	2,480		2,483	
Business Meetings	230		227	
Communication	1,200		1,196	
Office Rental Change	6,553		6,553	
Office Equipment & Leasing	810		814	
Stationary & Printing	480		482	
Miscellaneous	68		68	
Commission	300		306	
Retirement Fund		300		300
Depreciation	-	446	-	507
Transferred cost to Centennial Activities		0		-672
<u>Ordinary Expense Total</u>		<u>33,747</u>		<u>32,101</u>
<u>Ordinary Excess of Revenue Over Expense</u>				
		<u>-1,357</u>		<u>-1,284</u>

Centennial Project
BUDGET of INCOME & EXPENDITURE FY2023
(from May 1, 2023 to April 30, 2024)

(1,000 yen)

INCOME (Centennial Project)

From Centennial Fund		75,274
NGRT participation fee		168
Support for VSJ		300
Donations		0
<u>Total Income</u>		<u>75,742</u>

EXPENDITURE (Centennial Project)

1) AJS Kaneko Award		0
Ceremony	0	
Prizes @300x2	0	
Communication	0	
2) NGRT		600
Venue (Hills Club): @33x10	360	
Communication & Transpotation	100	
Printing & Office Expense	100	
Business Meetings	10	
Remuneration	30	
3) Visit & Study Japan Grant (VSJ)		630
Grant @300x2 students	600	
Remuneration	30	
4) America Bowl		3,800
Printing & Postage	1,000	
Remuneration	200	
Facilities	100	
Prizes	500	
Equipment/Vendors	1,000	
Others (Banner, communication)	1,000	
5) Other reserve (including Depresiation of HP)		2,320
<u>Total Expenditure</u>		<u>7,350</u>
<u>Excess of Income over Expences</u> <u>(carried over for FY2023)</u>		<u>68,392</u>

AJS New Individual Members May 1, 2022~April 30, 2023

No	Last	First	姓	名	No	Last	First	姓	名
1	Hamanaka	Minami	濱中	みなみ	33	Suda	Misaki	須田	美咲
2	Ochi	Makiko	落	雅季子	34	Saito	Makoto	斎藤	真
3	Lee	Roy	リー	ロイ	35	Takahashi	Noriko	高橋	典子
4	Shono	Tadashi	生野	正	36	Baron	Samuel		
5	Shono	Naoki	生野	直輝	37	Utagawa	Ayumi	歌川	あゆみ
6	Morimura	Yuu	森村	祐宇	38	Kirch	John	カーチ	ジョン
7	Suzuki	Chihiro	鈴木	千尋	39	Fukui	Noriyuki	福井	倫行
8	Otake	Ryuji	大竹	竜史	40	Hoda	Takaaki	保田	隆明
9	Nakai	Shinji	中居	伸自	41	Koga	Yuka	古賀	優花
10	Kawasaki	Shigeru	川崎	茂	42	Shimizu	Junko	清水	純子
11	Umemoto	Chiaki	梅本	千晶	43	Howard	Korey	ハワード	コリー
12	Hayashi	Eiken	林	永健	44	Shibata	Munetoshi	柴田	宗俊
13	Yasumoto	Hiroyuki	安本	裕幸	45	Fukuda	Tomomi	福田	友美
14	Asamura	Sae	浅村	彩恵	46	Iida	Yoshichika	飯田	良親
15	Okawa	hinako	大川	日菜子	47	Kawahara	Rika	河原	里香
16	Oki	Shiho	大木	紫帆	48	Kunita	Sachiko	國田	幸子
17	Kozuma	Aimin	高妻	愛明	49	Passaglia	Samuel		
18	Shimasaki	Sayuri	嶋崎	小百合	50	Serizawa	Kyoka	芹沢	匡奏
19	Nagaki	Takato	永木	貴翔	51	Parker	David		
20	Morita	Honoka	森田	帆香	52	Okamoto	Hikaru	岡本	光
21	Obi	Kohei	小尾	航平	53	Enzmann	Jacqueline	エンズマン	ジャクリーン
22	Kaga	Konomi	加賀	紺乃美	54	Omori	Taiyou	大森	太陽
23	Katagiri	Misaki	片桐	実咲	55	Kimata	Yoshitake	木俣	佳丈
24	Kimura	Yuto	木村	勇翔	56	Kimata	Yoshitaka	木俣	佳鷹
25	Sugimoto	Hideki	杉本	英輝	57	Suzuki	Hideaki	鈴木	秀昭
26	Takiguchi	Mai	瀧口	真衣	58	Date	Kanako	伊達	佳内子
27	Tezuka	Mariko	手塚	まりこ	59	Okamura	Yoshifumi	岡村	善文
28	Hijiya	Yu	泥谷	結友	60	Phenix	Jonathan	フェニックス	ジョナサン
29	Miyake	Saya	三宅	咲文	61	Yamada	Hiroyuki	山田	裕行
30	Yamada	Koji	山田	航司	62	Goto	Megumi	後藤	恵美
31	Sakaji	Shoko	坂地	祥子	63	Mason	Kumiyo	メイソン	久美代
32	Maeda	Sae	前田	紗恵	64	Matsuda	Asuka	松田	明寿香

AJS New Corporate Member May 1, 2022~April 30, 2023

No.	Organization	組織名
1	The American School in Japan	学校法人 アメリカン・スクール・イン・ジャパン